

● 広告募集 ●

『あなたの会社や製品を紹介しませんか?』

本誌は、日本全国で活躍している工学院大学の卒業生を中心に、約68,000人を対象として発行しています。貴社の活動や製品・サービスを紹介してみませんか。

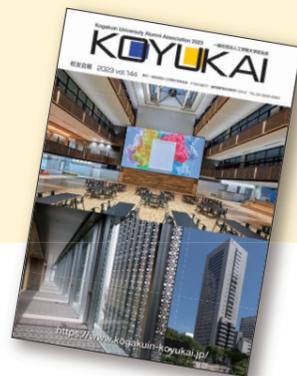
- 募集対象……………企業、組織、団体などの広告宣伝など
- 掲載紙 工学院大学校友会報Vol.145
- 発行予定日……………2024年3月
- 主な対象……………工学院大学、工学院大学附属高等学校の卒業生、専門学校の卒業生、卒業生のご父母、現任教員、学園関係者など
- 掲載料金……………第2表紙・第3表紙：¥240,000-
本文内：¥90,000- (1/2ページ) / ¥180,000- (1ページ)
- 募集締切り……………2024年1月15日

詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。

● 記事募集 ●

『近況を校友会報やホームページで紹介しませんか?』

広報部では、校友のみなさまの活動を本誌やホームページを使って紹介するお手伝いをします。支部や同窓会、同期会主催のイベント案内、参加者募集や楽しかった活動の報告など、お気軽にお知らせください。また、校友のみなさまがご執筆された書籍の紹介もいたします。詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。



編集後記

新型コロナウイルス感染症は未だ終息していませんが、マスク着用については緩和が始まりました。工学院大学においては入学式・学位授与式・学園祭など様々な行事・イベントが徐々に再開されつつあります。この間で ICT リテラシーが飛躍的に向上し、オンライン形式の利点を積極的に活用する動きが進みました。校友会の諸活動も、社員総会や全国支部長会などの各種行事や会議においてもオンライン形式での開催が定着いたしました。今後は各行事等の再開が期待されます。

このように、人と人とのコミュニケーションのカタチが大きく変貌した今、校友会活動についても多様性を活かした活動の仕方を様々に取り入れ、活動範囲を拡大して行ける事と考えます。待ちに待った全国大会も無事再開され、大成功の報告を掲載することができました。

校友会報は今回よりSDGsの時代に相応しく電子版にリニューアルしての発行といたしました。そして、校友各位のご支援により、何とか今年も校友会報をお届けできることとなりました。

校友会広報部は、今後も校友の皆様にとって有益な情報を、可能な限り遅延なく、また居住地に関係なくお届けするべく尽力してまいります。

最後に、本誌の発行に多大なるご支援・ご協力をいただきました学園理事長、大学学長、附属中学校・高等学校長、各同窓会長、原稿をご執筆いただいた校友各位に、この場を借りてお礼を申し上げます。

工学院大学 校友会報

vol.144

発行日 ● 2023年3月20日
 発行 ● 一般社団法人工学院大学校友会
 住所 ● 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2
 電話 ● 03-3342-2064 / 03-3340-1649
 F A X ● 03-3342-2035
 メール ● jimukyoku@kogakuin.or.jp

編集 ● 一般社団法人工学院大学校友会 広報部
 [部長] 高木 雅行(建築)
 [副部長] 平山 徹夫(専門)
 [部員] 坂口 教子(機械) 浅利 信博(化学)
 名取 勝敏(電気) 安宅 恵理(電気)
 甘粕 一彦(電気) 新海 俊一(建築)
 田中 元樹(高校)

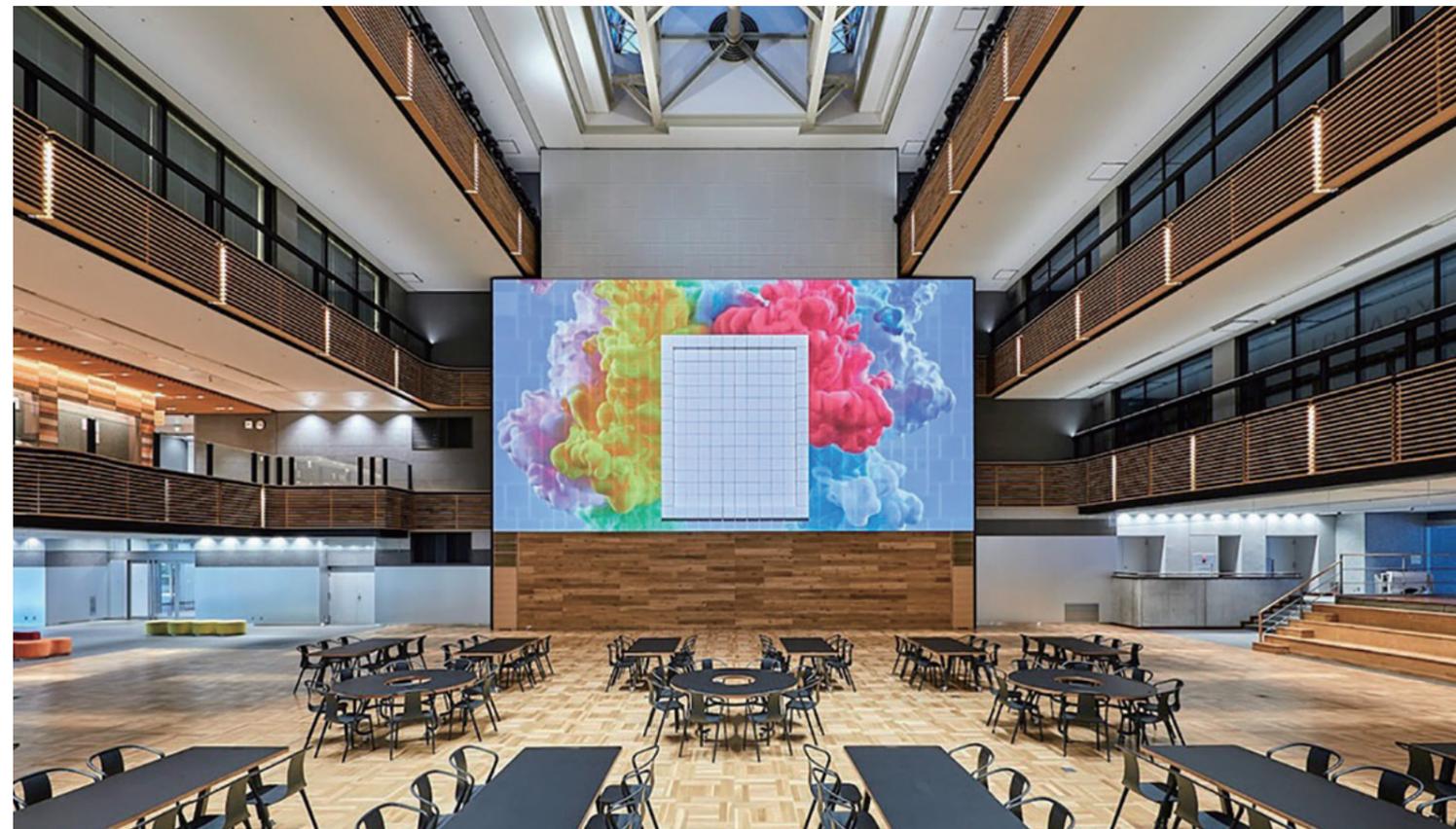
印刷・製本 ● 株式会社五色
 制作 ● 株式会社ena

工学院大学校友会のホームページはこちらから

<https://www.kogakuin-koyukai.jp/>

会員ページID・パスワード

上記のメールアドレスへ、以下の項目を記載の上、お問い合わせください。
 ○件名 [校友会専用ページのID・パスワード照会]
 ①氏名(漢字表記) ※旧姓から変わった方は旧姓も記載 / ②卒業区分・卒業年
 ③メールアドレス / ④住所 ※任意: 卒業時の住所から変更となっている場合のみ



<https://www.kogakuin-koyukai.jp/>

ご挨拶 2023

校友の皆様には、校友会活動への理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。校友会は校友同士が情報交換できる交流の場を設け、校友の方々の更なる発展に貢献することが大切な目的の一つです。

【校友同志交流】

- ①これまで3年前から続きました、新型コロナウイルスの影響で一番大事な校友同士の交流の場を自粛してまいりましたが、昨年2022年の後半からコロナの回復の兆しが見え始めましたので、2年延期しておりました第19回校友会全国大会の大分大会を別府にて、大分県支部のご尽力のおかげで11月12日・13日に開催することができました。
- ②12月10日には、学園主催のホームカミングフェスが開催され、大勢の校友が集まり、リニューアルされた1階アトリウムにて、学生の皆様に歓迎していただきました。吹奏楽部の演奏・ソーラーチーム紹介や屋台村を楽しみながら対面で久しぶりの母校を、楽しむことができました。
- ③年を明けて1月8日は「新春の集い2023」を同窓会組織部の企画でエステック情報ビルの4階レストランで開催いたしました。久しぶりの学友や先輩・後輩との交流で盛り上がりました。

この3つの集まりは、久しぶり対面で大盛況の校友交流の場となり、校友会の目的がかなえられ



一般社団法人 工学院大学校友会
会長 田野邊 幸裕

ました。来年2024年11月9日・10日に開催予定の、第20回校友会全国大会の高知大会への期待が参加者から多く寄せられています。

【嬉しいニュース】

- ①令和4年の秋の叙勲において、川崎 功氏（1961年機械工学科卒 空手道部OB）が旭日双光章の栄誉を受けられました。日本空手協会や静岡県空手道連盟などの団体役員を歴任されてのスポーツ振興功労による叙勲となりました。
- ②令和4年秋の褒章において、磯 三男氏（1962年電気工学科卒）が緑綬褒章を受章されました。エネルギー分野での専門知識を活用した長年にわたる環境保全活動実績による功労が認められての受賞となりました。
- ③学園創立135周年式典（2022年10月31日）に於きまして、工学院大学を卒業して活躍されている女性の中から、1970年建築学科卒業の岩瀬 栄子様と、2017年情報学部コンピュータ科学科卒業の惟村恵里様の二人が「女性躍進賞」を受賞されました。更なるご活躍を期待いたします。

【校友会報誌の電子化】

校友会報は従来の紙の冊子の会誌から、校友会ホームページからパソコンやスマートフォンで見ることの出来る電子版の会誌へとリニューアルいたしました。今後とも会員の皆様がいつでも読みやすく、様々な情報に繋がりの会誌へと取り組んでまいります。

【来年は校友会設立125周年】

学校法人工学院大学の前身である工手学校は1887年（明治20年）に創立され、昨年の10月31日に創立135周年を迎えました。校友会のルーツは、124年前1899年（明治32年）の「工手学校同窓会」発足が始まりです。来年の5月14日には一般社団法人工学院大学校友会は、設立125周年を迎えます。これから「工学院大学校友会125周年記念誌」の発刊に取り組みます。

新中期計画の策定

大学、大学院及び附属中高の諸活動に日頃より多大な支援をたまわり、御礼申し上げます。

2023年は、本学園の中期計画「コンパス2023」の最終年にあたります。学園では、中期計画の目標達成状況を確認し、今後に向けた改善点を探る必要があります。そして、それをもとに、新たな中期計画の策定に着手する年ということになります。本学園の中期計画は、6年間の計画を定める（中間にあたる3年終了時に修正）ことを通例としています。既に、新しい中期計画に引き継ぐべき課題として、クラウドキャンパス（仮称）の設立やダイバーシティ（男女共同参画を含む）の取り組み強化等がありますが、学内各部署はもちろん校友会をはじめとする関係機関からも、学園の将来に向けて積極的な提案や意見をお寄せいただければと考えております。

なお、2023年5月末に任期更新にともない新理事会が発足するので、新中期計画は新理事会の下で議論されることとなります。



学校法人工学院大学 理事長
後藤 治

変わり続ける 新宿キャンパスに ご注目ください。

新型コロナウイルスは2023年5月8日から第5類の感染症になりますが、本質が変わるわけではありません。密に気を付けてウィズコロナの生活を送りたいと思います。ICTを利用した時間割は学生達に生活のゆとりをもたらしています。学外活動の制限なども緩和されることで、学生たちはさらに伸びやかな生活を楽しめます。

新宿キャンパス地下一階に限っていた出入りも、2020年に生まれ変わった1階アトリウムからも可能になりました。図書館は機能を電子化し、さらにメディア情報を加えた本学の目玉施設・学術情報センター「工手の泉」として生まれ変わりました。併設された建築設計授業スペース・デジタルツインラボは壁一面のディスプレイで実物大での建築構造物を疑似体験できる教室です。変わり続ける工学院大学にご期待ください。



工学院大学 学長
伊藤 慎一郎

校友会や大学と 連携して中高の 魅力が増進

附属中高は、2022年に志願者を約5割増やしましたが、2023年はさらに約3割増やしました。これは、生徒のみなさんが目標に向かってがんばっている姿やそれをサポートする教職員の姿が、受験生やその保護者に認識された結果だと思っています。

大学は、新宿と八王子というツインキャンパスを持つメリットを最大限に活かして大きく魅力を増進させようとしています。世の中に大学附属校は多数あれど、本校のように大学キャンパスの中にある学校は少数で、さらに、中高大院が密に連携できている工学院のような素晴らしい事例は極めて稀です。

附属中高が魅力的なのは、生徒や教職員と、中高をご支援いただく大学や校友会などの存在があるからだと考えています。今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



工学院大学附属中学校・高等学校 校長
中野 由章

Event Report

イベント報告

全国大会 大分大会

第19回一般社団法人工学院大学校友会全国大会 大分大会が2年2度の延期となつて2022年11月12日(土)、別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ)に145名(校友116名、同伴者22名、来賓7名)が集まり盛大に執り行われました。

式典では本大会実行副委員長の吉賀氏の挨拶に始まり、来賓の挨拶、記念講演として別府ならではの「九州電力グループの地熱発電の取り組みについて」。そして蔵より発見され、ご家族から工学院大学へ寄贈された、工手学校1期生、明治22年(1889年)卒業の敷田熊太氏の土木学科卒業証(※1)の披露。初めて見る第1期生の卒業証はとても綺麗な状態で、九州から上京し勉学に励まれた先輩の存在は心を打つものがありました。式典の最後は大分県立由布高等学校郷土芸能部による若く躍動感のある庄内神楽で厳かに締められました。

※1 卒業証は当時の卒業証書を表します。



その後、催された祝賀会では、郷土舞踊、だんご汁などの郷土料理、地酒そして、大分県の皆様の温かみのある和やかな雰囲気での華やかな祝賀会となりました。初参加の方も多くいらっしゃいましたが、地元に戻った先生、先輩や旧友たちとの再会は一瞬で大学時代に戻ったかのようでした。



翌13日(日)のオプションツアー(八丁原地熱発電コース、地獄めぐりコース)にも多数の参加があり、皆様心から楽しまれたようです。



今回の大分大会に初参加して思ったことは、この素晴らしい大会をまだ参加されたことのない校友にも知って頂き、この交流の輪を大きく広げ、工学院大学校友会の歴史そして未来を共有したいと心から感じました。

次回の全国大会は来年(令和6年、2024年)11月9日(土)、10日(日)高知大会となります。お誘い合わせの上、多数ご参加されることを願っております。



新春の集い 2023

2023年1月8日に「新春の集い2023」が、コロナ禍の影響で2度の中止となり、3年ぶりに学園関係者を来賓にお招きし、対面の形で147名もの校友・学園関係者が新宿キャンパス隣の新宿エステック情報ビル Y'S に集まり開催しました。

開始までの間、会場には「映像で巡る工学院大学135年の軌跡」が上映され、同窓会組織部久保さんの流暢な司会進行で開会宣言がなされ映像による校歌・学園歌斉唱でスタートしました。

その後、校友会田野邊会長挨拶の後、工学院大学後藤理事長から祝辞を頂き、乾杯が工学院大学伊藤学長の御発声で行われ、和やかに歓談に入りました。



歓談の中、特別ステージが初出演となる絹田キヨナシナさんの美しい歌声と相良浩司さんのギター演奏が賑やかに披露され会場全体が一気に盛り上がり皆さん熱心に鑑賞されました。終演時には会場から大拍手が沸き上がりました。



2022年11月に開催された校友会全国大会 大分大会のお礼の辞が渡邊実行委員長より述べられ、2024年11月9日、10日に開催される高知大会の紹介が長崎委員長より行われました。

恒例の「お楽しみ抽選会」では、今回はロボット掃除機、スマートウォッチなどの豪華景品に加えコーヒーマーカーや防災ラジオなど多彩な景品を準備し、会場を盛り上げました。



閉会の辞が、同窓会組織部 宮木部長により行われ終宴となりました。

終わりにこの集いに参加いただいた学校関係者の皆様、景品や寄付をいただいた支部、同窓会、個人の皆様に心よりお礼申し上げます。



学園

大学の軌跡をサイトとイベントで紹介

学園創立 135 年となる 2022 年は、学園の歴史と社会的意義を見つめる展示やイベントを開催しました。

ホームページに掲載中の「工学院大学ヒストリー」は、第 3 章を追記。社会の趨勢にあわせて大学が発展する様子が感じられるページとなりました。

新宿キャンパスの地下 1 階では、創立 135 周年記念展示を開始。制作は、建築系学生プロジェクト WA-K.pro(ワークプロ)と空間デザインのプロ株式会社博展が協働で行いました。

アトリウムで開催した、東京経済大学とのトークセッション(2022年10月25日および2023年2月17日)では、創立に関わったメンバーの心意気や社会からの期待と貢献、これからの工学のありかたを振り返りました。「学園の誇りを改めて感じた」といった感想を多くの卒業生からいただいています。



大学

学園祭や体育祭が3年ぶりにキャンパスで開催されるなど、賑やかなキャンパスが戻りつつあります。

コロナ禍を通して培った経験をプラスに活かした授業改革が、2022年4月から展開されました。1時限目と6時限目は全てオンラインのオンデマンド授業とし、対面の実験・実習・演習授業は、曜日や時限を集中して実施することで、通勤ラッシュを避けて、自分のスケジュールに合った時間帯を有効に活用できるようになりました。学びや創造活動に積極的で好奇

心旺盛、真摯な姿勢で何事にも取り組む学生にあふれるキャンパスを目指します。

建築学部では、2022 年秋から分野横断型デジタル教育がスタートし、建築・都市産業の DX に貢献する人材の育成を始めました。同事業は、文部科学省「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」の採択を受け、最新の設備が導入されました。

学生プロジェクト、各分野で躍動

2022 年は、ようやく大会などが開催され、学生たちは大いに活躍しました。各分野の甲子園に相当する大会に出場が決まると、校友会からは必勝祈願のお礼をいただき、校友の激励を胸に出場しました。

■みつばちプロジェクト、SCP (Science Create Project)

2 団体がタッグを組み、KUTE Honey シリーズ第 3 弾となるハンドソープを企画開発しました。2022 年度は京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターで 8 月と 12 月にこれまでに開発したハンドクリームや入浴料とともに期間限定販売。SCP は同会場でふわふわスライム作りのブースを開設し、盛り上げました。

2023 年春には、ハチミツ入りビール造りのプロジェクトを開始します。続報は大学ホームページや SNS をご覧ください。



■工学院大学ソーラーチーム

8 月 8-11 日に秋田県大湯村で行われたソーラーカーレース「ワールド・グリーン・チャレンジ」で準優勝しました。11 月に東京たま未来メッセで開催された「八王子ものづくり EXPO2022」には 4 号機 Wing を出展し、バーチャルドライブ体験で多くの来場者に技術をアピールしました。自動車部(附属中高)のサポートは 2 年目を迎え、若い世代で知識の定着と技術の向上を切磋しています。翌 12 月には、「八

王子市民フォーラム・未来を語る ゼロカーボンシティの実現に向けて」にチームの大学院生と自動車部の高校生が登場し、脱炭素社会の実現に向けた意識の醸成に協力しました。

2023 年 10 月にオーストラリアで開催される世界大会参戦に向けて、新車両の開発を進めています。



■KRP (Kogakuin Robot Project)

2021 年に続き、2022 年も NHK ロボコンに出場し、2 年連続で東京エレクトロン株式会社による特別賞を受賞しました。2 台のロボット間でボールを移動させ、相手ロボット頭上のボールを落とす競技で、ボールをパスして確実に渡すユニークな手法が評価されました。大会のダイジェストは、NHK で 7 月 18 日に放映されました。

KRP は、すでに 2023 年大会の第 1 次審査を通過し、機体製作に注力しています。



■学生フォーミュラ (Kogakuin Racing Team)

9 月 6 日～10 日に開催された学生フォーミュラー日本大会 2022 で、KRT は総合 7 位に入りました。9 年ぶりに全種目を完走し、チームの歴代最高順位を更新しました。校友会の名前も刻まれたマシンで悪天候も乗り越え、大きな飛躍を遂げました。その活躍は、主催者サイトのレポートで取り上げられました。



附属中学校・高等学校

3 年ぶりに強歩大会や海外短期留学が開催される、夢工祭に予約制ながら一般の方も来場いただくなど、附属中学校・高等学校においても対面での開催が増えた一年でした。一方で、オンラインでの海外交流も継続され、効果を重視した教育に発展しています。様々な取り組みが評価され、受験生は中学・高校共に増えています。

■自動車部、白浜 ECO-CAR チャレンジで第 3 位

自動車部は、9 月 23 日から 24 日にかけて旧白浜空港特設会場(和歌山県西牟婁郡白浜町)で開催された「白浜 ECO-CAR チャレンジ」に参戦し、エキスパートクラスで第 3 位に入賞しました。社会人や大学生、高専生からなるソーラーカーチームに交じり、他クラスを含む総合でも 3 位に入る健闘を見せました。



機械系同窓会 活動紹介



機械系同窓会
会長 植木 幸裕

会長挨拶

当同窓会では、校友会活動を通じて校友のみならず、教職員や学生さん達との連携・交流を図り、お互いの技術、情報、人脈を活用し合えるような「場」でありたいと願って活動しています。特に若い方々には積極的に参加して頂き、仕事にも役立つ校友会にご期待下さい。

活動報告

恒例の「報告会兼意見交換会」、「活躍するOBの報告会」、「秋の集い」、「機機械会」は全てオンライン開催で、参加者も首都圏中心から遠方の方々まで幅広く参加頂けるようになりました。

- ①活躍するOBの報告会：毎年夏頃、仕事面に限定せず、趣味を含めた様々な方面で活躍されているOBの方にご講演頂くイベントで、昨夏は「私のスローライフ：甲州庵だより」を開催、17回目の2023年度は8月に開催する予定です。
- ②秋の集い：4学生プロジェクト活動報告の発表を中心に学生との交流を深めた集いでした。
- ③機機械会：機械系教職員・学生との連携・交流を目的とし、年2回開催しており、2022年度は機械工学科の菱田博俊准教授と、同じく機械工学科の西谷要介教授に講師をお願いしました。講演後は、研究内容に対する質問は勿論のこと、講演内容と全く関係ないことの質問も許される奇々怪々な交流会です。

化学系同窓会 活動紹介



化学系同窓会
会長 志村 豊

会長挨拶

生命化学科、応用化学科、環境化学科、及び大学院化学応用学専攻で学ぶ学生諸君を支援する為に、教員の先生方と同窓会会員の皆様方と協力して、学習支援や就職支援など各種支援活動を推進していきたいと存じます。

活動報告

化学系同窓会の学生支援事業に、TOEICの取得SCOREによる表彰として「英語応援賞」があります。ENTRYは、化学系各学科（生命化学科、応用化学科、環境化学科）の先生方をお願いしております。2021年度の実績者10名の皆様には、2022年度に表彰状と副賞を授与いたしました。おめでとうございます。本年度も多くの学生諸君からのENTRYを期待しています。

また、就職支援課と相談しながら、応用化学科の学生を対象に、卒業生が勤めている企業の人事担当者に来校してもらい「企業説明会」を開催いたしました。（4月と1月の2回）その他、各学科でのスポーツ大会の開催支援を行いました。今後、科学教室が再開されましたら、卒業生と学生諸君が一緒になって子供向け化学実験が出来る様にと期待しております。

電気系同窓会 活動紹介



電気系同窓会
会長 島林 正美

会長挨拶

当同窓会の使命は、校友や学生をつなぐ支えることです。会報「隆星」発行、学生の資格取得支援、インターンシップ報告会優秀者表彰、院生の優秀論文表彰などでサポートしています。今後も仲間達を力強く応援します。

活動報告

当同窓会は、6学科及び大学院の同窓生で構成され、2023年1月27日現在、15,050名が社会の各分野で活躍しています。主な活動は、

- ①資格取得報奨制度：資格試験に合格した場合、報奨金を授与するものです。今年度は33名に授与し累計で231名になりました。
- ②インターンシップ報告会優秀者表彰：大学のインターンシップ利用者の報告を聴講し、優秀な学生を表彰します。4年度は4名でした。
- ③院生優秀論文表彰：院生の優秀な論文に対して、応援するため令和3年度に創設した制度で、4年度は1名でした。

他にも、学生の就職支援活動等も着実に継続しています。

今後も学生との連携を強化しつつ、力強く支える同窓会を目指して活動を進めます。

建築系同窓会 活動紹介



建築系同窓会
会長 高木 雅行

会長挨拶

同窓会ホームページが新しくなり、多くのお方にご覧いただけたかと思います。コロナ禍も完全には終息していませんが、今後は対面での会合や、行事を再開して行きます。ぜひご参加いただけますようお願いいたします。

活動報告

昨年より、同窓会誌NICHEは電子版にリニューアルいたしました。ご覧頂いた読者の皆様方のご意見をどうぞお寄せください。今後も新たな編集方針も加え卒業生の活躍を中心に紹介して行きます。また、新設した同窓会賞は卒業制作の優秀者を表彰するに加え、卒業論文に対しても表彰を行う事といたしました。故武藤章先生設計の工学院大学白樺湖学寮は今年修繕工事を実施いたします。「白樺湖夏の家」は大学より引き継ぎ、減築・整備し日本建築家協会からJIA25年賞を授与されました。今後もその価値にふさわしい利用方法や、セミナーなどを増やして行きます。新ホームページに加え、FacebookのNICHEもスタートしました。ぜひご利用ください。同窓会ホームページ：<https://niche-alumni.com> NICHE Facebook：<https://www.facebook.com/niche.kogakuin>

附属高等学校同窓会 活動紹介



附属高等学校同窓会
会長 岸 和浩

会長挨拶

日頃は校友の皆様からご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。コロナ禍が続き対面でのイベントが制限される中、オンラインでのコミュニケーションツールを活用し、幅広い会員層の交流・情報提供に努力いたします。

活動報告

コロナ禍が長引き、今期も「ホームカミングパーティー」（5月、八王子）と「おもいでCafe」（9月、夢工祭）を開催できませんでした。本会の運営は報告会・意見交換会（5月）や定例役員会をZoomオンライン開催とし、報告・連絡・相談事項等は役員メーリングリストを適時活用いたしました。今期から校友会西東京支部との企画連携を特別事業と位置づけ、校友が楽しみつつ高校の生徒・部活動を応援することができました。また、本会員が校友会「大分大会」へ参加して校友と親睦を深めることができ、支部組織部および大会事務局の皆様へ感謝いたしております。なお、年間活動をまとめた会報「夢広場」は今号も印刷物として配布いたします。

専門学校同窓会 活動紹介



専門学校同窓会
会長 平山 徹夫

会長挨拶

専門学校は、2009年に廃校になりましたが卒業生全員、益々意気軒昂、結束を高めております。少しも他人のために生きないものは、ほとんど自分のためにも生きていない。HONEST ENDEAVOR よろしくお申し込み申し上げます。

活動報告

With コロナ時代に合わせ会員がなるべく集えるような機会を毎月、実施しております。

- ①(リモート) 情報交換会
スモールトークの場です。各自の近況報告、勤務する業界の動向、コロナ禍の取り組み方、花粉症対策など気軽に話し合う場です。また、近隣支部、HCFや新春の集い等に積極的に参加しております。
- ②英会話教室
以前は、新宿のキャンパスで行っていましたが、現在はリモートで続けております。音読中心ですが、(継続は力)レベルも上がっています。
この二つの会により、休眠会員の掘り起こし効果！が出てきました。
コロナ感染者も減少してきましたので、更なる活発な活動（見学会・研修旅行）を計画しております。

総務部

部長 小澤 和重

副部長／植木 幸裕、島林 正美
部 員／一柳 裕昭、片原 陽児
森田 保、久禮 和彦
小口 俊明、井上 博明

総務部は、原則として月1回の定例会の他に、社員総会時や集中審議の必要性がある場合に臨時部会を開催して活動をしています。主な業務は、各種規則の制定や定款・規則類の改正に関する事、社員総会開催に関する事、校友会の事業計画に関する事、他部に属さない事項等多岐にわたっています。2022年度は、コロナ禍が続く状況下における社員総会のZoomオンライン開催実施及び事業活動を行うための定款及び諸規則改定などを手がけました。また、地方支部や各同窓会、各部会でIT利用（例えばリモート会議開催のためのシステムセットアップ等）をサポートするチームの立ち上げ、実施案作成を行いました。今後、我が校友会が校友のための魅力ある組織となるよう、部員一丸となって活動してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

財務部は、学園に継続的に寄附を行う健全な財務体質を目指して、四半期ごとの決算書において、校友会の財産が適正に経理処理されていることの確認が主な業務です。2022年度は各部による学園への貢献事業を助成する目的で昨年同様挑戦的な予算を組みました。その結果、大分での全国大会と新春の集いを規模縮小ながらも対面で行うことができました。

校友会員は終身会員ですが、維持協定会費納付へのご協力をお願いしております。イベントの復活により納入率はやや向上しましたが、コロナ前までは戻っておりません。皆様には維持協定会費納付及び預金口座振替サービスへのご登録のご協力をお願い致します。

財務部

部長 佐藤 弘規

副部長／川島 久宜
部 員／小川 文夫、川島あゆみ
原 貴子、広田 慶孝
駒崎 健一

広報部

部長 高木 雅行

副部長／平山 徹夫
部 員／坂口 教子、浅利 信博
名取 勝敏、安宅 恵理
甘粕 一彦、新海 俊一
田中 元樹

広報部は、1. 校友会報の発行 2. 校友会ホームページの更新、管理を主な活動としております。加えて会誌連携に関する意見聴取、支部掲示板サイトを再構築いたしました。

①校友会報の発行

同窓会の活動報告や事務報告を中心とする会報といたしました。一方で各同窓会誌の編集ご担当の皆様からの会誌連携に対する意見聴取を部の枠を超えて行いました。

②校友会ホームページの更新、管理

校友会や学園のイベント等会員の皆様の様々な活動を紹介しております。再構築した支部掲示板サイトは22支部の皆様にご活用いただき500ビュー/月の閲覧・ご利用頂きました。

同窓会組織部は、新春の集いの企画・運営、学術講演会の企画・開催、各種交流活動への支援などの活動を行っています。

校友が集う機会が失われるなか、校友会員交流会「校友の絆をつなぐ会」を8月27日(土)に工学院大学准教授 桂良寛先生をお招きし、「健康」をテーマに健康寿命の大切さの講演と筋肉量の維持向上を目指す「エキセントリック体操」の実践指導をいただきました。当初は対面による開催を予定でしたが、コロナ禍の影響によりWeb会議の仕組みを利用しリモートによる開催としました。リモート開催により遠方の皆様にもご参加を頂くことができました。校友会が主催する「新春の集い2023」は、1月8日(日)に3年ぶりの対面により、学外に場所を借りて開催しました。

同窓会組織部

部長 宮木 義雄

副部長／内野 正之
部 員／久保 直紀、小野寺 康
唐崎 幸弘、吉田 立
田中 元樹、山本 進
近藤 松男
アドバイザー／鄭 雄飛

支部組織部

部長 湯尾 慶一

副部長／櫻井 良尚
部 員／横田 仁、三田 一男
小野寺 康、中里 利男
小林 将夫、岡安 彰
荒井 翔平

支部組織部は各地域支部の活性化を目的に活動を行っています。

①新潟、岐阜、三重、岡山、徳島、愛媛、台湾の7支部の設立を活動中です。このうち愛媛県支部を立上げする事が出来ました。未設立支部の校友のご連絡をお待ちしております。

②大分での全国大会を2022年11月12～13日に実施致しました。次回の大会は高知県で、2024年11月9～10日実施予定です。(支部組織部がサポートを実施しています)

③全国支部長会はネット会議形式で開催しています。ネット会議の運営等もだいぶ慣れてきました。2023年度の全国支部長会議は1月にネット会議で実施予定です。

学園連携部の主たる活動目的は、学園の諸事業及び学園に属する生徒と学生諸君の諸活動に対する支援です。新型コロナウイルス禍で、学園主催行事が縮小や中止となり、学園連携部の支援活動も停止や延期をせざるを得ない状態が一昨年度から続いておりますが、その中でも活動しております支援項目について報告します。

①学生・生徒への助成金交付事業：成績優秀学生プロジェクトへの支援

②優秀学生・生徒表彰事業：成績優秀者へ表彰と奨励金

③学園グッズのニーズ調査・販売に関わる事業：ゴルフ販売他

④学園主催ホームカミングフェスの開催支援事業

学園連携部

部長 白井 精滋

副部長／小川 隆
部 員／久保 直紀、志村 豊
望月 千尋、高長 秀光
菊川 豆、熊倉 強
青井 瑛、勝谷 尚武
加藤 滋、田中 元樹
篠崎 秀夫
アドバイザー／矢ヶ崎隆義

2023年度校友会主な行事予定

全ての予定は状況により、日程変更・中止になる場合があります。イベントの前には必ず校友会ホームページにてご確認ください。

開催予定日	行事内容	開催場所 (変更になる場合があります)
5月27日(土)	全国支部長会	新宿校舎
5月28日(日)	第11回定時社員総会	新宿校舎
1月7日(日)	新春の集い2024	新宿校舎

2022年度 表彰学生・生徒

学校	学部	学科	学年	氏名
工学院大学	大学院	機械工学専攻	2年	矢口 大暉
工学院大学	大学院	化学応用学専攻	1年	上村 葵
工学院大学	大学院	電気・電子工学専攻	1年	徳重 明人
工学院大学	大学院	情報学専攻	2年	高田 盾作
工学院大学	大学院	建築学専攻	2年	向井 菜萌
工学院大学	大学院	システムデザイン専攻	2年	御代川 亮
工学院大学	工学部	機械工学科	2年	中村 燎人
工学院大学	工学部	機械システム工学科	2年	鈴木 彪悟
工学院大学	工学部	電気電子工学科	4年	池田 翔
工学院大学	情報学部	情報通信工学科	4年	中山 誠亜
工学院大学	情報学部	コンピュータ科学科	4年	鈴木 陽晴
工学院大学	情報学部	情報デザイン学科	4年	中田 健太
工学院大学	情報学部	システム数理学科	4年	齋野 龍泰
工学院大学	建築学部	建築学部総合	2年	岩佐 なお
工学院大学	建築学部	建築学部総合	2年	高橋 唯
工学院大学	建築学部	建築学部総合	2年	阿部 夢子
工学院大学	先進工学部	生命化学科	2年	打越 浩平
工学院大学	先進工学部	応用化学科	2年	島本 真衣
工学院大学	先進工学部	環境化学科	2年	平原 広大
工学院大学	先進工学部	応用物理学科	3年	月岡 知里
工学院大学	先進工学部	機械理工学科	2年	谷口 満帆
附属高等学校		文理先進コース	2年	千葉 真翔
附属高等学校		サイエンスコース	3年	落合 涼太
附属高等学校		文理先進コース	3年	岡部 海斗
附属中学校		インターナショナルクラス	2年	鳥生 伶
附属中学校		特進理数クラス	3年	宮野 優香

受賞報告

令和4年度秋の叙勲において、川崎 功氏（機械工学科 1961年卒 空手道部 OB）が、旭日双光章の栄誉を受けられました。氏は、令和元年にも生涯スポーツ功労者として文部科学大臣賞を受賞されており、このたびも、日本空



手協会や静岡県空手道連盟などの団体役員を歴任されての、スポーツ振興功労による叙勲となりました。

令和4年秋の褒章で、磯 三男氏（電気工学科 1962年卒）が、緑綬褒章を受章されました。エネルギー分野などの専門知識を活用した長年にわたる環境保全活動実績による功



労がみとめられての受賞となりました。

2022年度工学院大学校友女性躍進賞

工学院大学校友女性躍進賞は工学院大学を卒業した女性で特に優れた業績・成果をあげた方を学園が表彰するもので、校友女性の社会的な活躍の認知度を高めること、また、工学院大学に在学する女子学生に対する男女共同参画と社会貢献への意欲の滋養を目的とされた賞です。

2022年度は2名が受賞されました。

●岩瀬 栄子さん

1970年工学院大学工学部建築学科卒業
大学卒業後、企業で長年にわたり実務型技術者として設計管理に携わってこられました。さらに地域社会貢献を目的とした複数の団体で活動されています。

2019年には工学院大学校友会初の女性支部長となる群馬県支部長に就任されています。

●惟村 恵里さん

2017年工学院大学情報学部コンピュータ科学科卒業
野村証券入社後、「NOMURA'S BEST PARTNER 2020」に選ばれる等、活躍中、野村証券の新聞広告やfacebookにも起用されています。

訃報

謹んでお知らせいたします。ご冥福をお祈りいたします。

梶野 和己氏

2023年2月10日ご逝去
専門学校建築科 1958年卒
氏は校友会役員を務められました。

南雲 芳夫氏

2023年2月1日ご逝去
専門学校建築科 1956年卒
氏は校友会会長を務められました。

関谷 真一氏

2022年8月5日ご逝去
大学院建築学専攻博士課程 1981年修了。
氏は校友会役員を務めておられました。

舛井 寛一氏

2022年6月21日ご逝去
工学院 造船科 1944年卒
氏は校友会広島県支部長を務められました。

中島 淳氏

2022年5月22日ご逝去
大学機械工学科 1969年卒
大学院電気・電子専攻博士課程 2002年修了
氏は総合研究所特任教授を務めておられました。

宮坂 勝利氏

2022年5月14日ご逝去
大学機械工学科 1965年卒
氏は機械系教員を務められました。

校友サポートセンターのご案内

2020年より校友サポートセンターを開設しておりますので、お気軽にご相談ください。

- 趣旨** 日本全国で活躍している“校友と言う素晴らしい財産”を活かしたネットワークを全国支部と一体になり構築・運営する。
- 目的** ●学園の130年余の歴史と伝統を誇りとし、更なる発展を目指して学園と校友会連携による「学生及び校友会員のために、校友会は何ができるか?」に挑戦する。
●相談や支援の要請に対し具体的な成果を上げ“学生や校友から信頼され頼りにされる校友会”を目指す。

校友サポートセンター [情報の流れイメージ]



生涯メールサービス提供のお知らせ

学校法人工学院大学では学園や校友会からのお知らせや利用者間のコミュニケーション手段として2019年3月より生涯メールサービスの提供を開始しております。校友の皆様も申請いただくことによりご利用できます。

対象者

- ・大学・附属中学校高等学校・専門学校の卒業生
- ・大学院の修了生
- ・専任教職員

メールアドレス

- メールアドレス1
(ローカルパート)@ g.kogakuin.jp
- メールアドレス2
(ローカルパート)@ kute.tokyo

※2つのメールアドレスが利用可能ですが、どちらのメールアドレスも同じメールボックスに届きます。
※ローカルパートは申請時に希望を申し出ていただけますが、先着順となるため重複時は調整となります。

■申し込み方法

学園ホームページにある「生涯メール利用案内」をお読みの上、電子メールもしくは郵送にて校友会事務局までお申し込みください。その際、氏名、希望ローカルパート(3つ)、卒業学校(学部学科)、卒業年、本人確認書類(運転免許証、健康保険証など氏名、生年月日、住所記載の公的証明書)のコピー、校友会番号が必要となります。郵送の場合は送付先の郵便番号、住所、氏名(本人)を記載の上、所定の切手を貼った返信用封筒(長4が望ましい)も同封してください。

■学園ホームページ 生涯メール利用案内
https://www.kogakuin.ac.jp/ict_support/

■申込み・問合せ先

工学院大学 校友会事務局
E-mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp
住所: 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

校友会報統合について

昨年より校友会では校友会報と各同窓会誌の統合について各同窓会の編集委員の皆様と議論を重ねてまいりました。

複数回の検討を通して「校友会報と各同窓会誌の1本化の検討・実施」については、「校友会報と各同窓会誌の連携の検討・実施」と事業計画を改め、引き続き各同窓会誌編集委員の皆様と議論を進めてまいります。同時進行で校友会ホームページのリニューアルも進めておりますので、今後はホームページを有効利用しての会誌連携の検討・実施を進めてまいります。



維持協力会費芳名録

維持協力会費納入者ご芳名

日頃より校友会活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。維持協力会費納入の
 お願いに際しましては多大なご協力を頂きありがとうございます。

おかげさまで、2023年1月末までに596件2,673,000円のご協力を頂きました。
 校友会活動や学園及び学生支援に運用活用しておりますことをご報告申し上げます。

2022年2月～2023年1月までに維持協力会費を納入された方々のお名前を同窓会別、卒業年順に掲載しております。
 敬称は省略いたしました。
 複数の同窓会所属の方は振込票の会員番号の同窓会に掲載いたしました。

機械系同窓会

- 1957 小川久二男
- 1957 柿本 秀輝
- 1957 仲田 粂男
- 1957 岡田 明
- 1958 山本 修
- 1959 古溝 康朗
- 1960 田中 正春
- 1961 渋谷 博明
- 1961 横松 壽二
- 1962 齊藤 四郎
- 1962 関谷 敷
- 1962 福田 忠彦
- 1962 藤田 邦昭
- 1962 宮内 保幸
- 1962 森川 勇
- 1962 吉川 和彦
- 1963 雨川 勉
- 1963 馬場 靖孝
- 1963 日野 岩雄
- 1963 宮田 健二
- 1964 笠原 又一
- 1965 小林 朗
- 1965 白木信二郎
- 1965 関谷 重彦
- 1965 田中 英生
- 1965 千賀 哲夫
- 1965 美川 武
- 1965 酒井 康雄
- 1965 沢野 基泰
- 1965 志賀 剛
- 1965 鈴木 肇
- 1965 弓削 武男
- 1965 尾身 幸男
- 1965 山崎 幸男
- 1966 岩本 信治
- 1966 本田 信之
- 1967 紺屋 隆
- 1967 辛島 敬明
- 1967 茂木 一男
- 1967 宮丸 美彦
- 1968 大山 正雄
- 1968 塙 良夫
- 1968 三海 勝弘
- 1968 滝島 正之

- 1968 五十嵐幸信
- 1968 木下 幸秀
- 1968 和田 進一
- 1969 黒田三十郎
- 1969 多田 庸男
- 1969 南 弘
- 1969 並木 光雄
- 1969 福田 末廣
- 1969 朝山 邦夫
- 1970 相原 邦男
- 1970 石田 英雄
- 1970 上田浩四郎
- 1970 武田 光雄
- 1970 藤井 政治
- 1970 山崎 博
- 1970 渡辺 文矢
- 1970 新井 勇
- 1971 有岡 光男
- 1971 小川 文夫
- 1971 縣 純治
- 1971 前田 道德
- 1971 小川 和雄
- 1972 水澤 久夫
- 1972 金井康太郎
- 1972 吉野 康生
- 1973 栗本 茂生
- 1973 成田 治
- 1973 石原 正博
- 1973 皆川 誠吉
- 1974 岡崎 孝宣
- 1974 守永 泰雄
- 1974 大野 好和
- 1974 甲斐 直幸
- 1975 植木 幸裕
- 1975 唐鎌 貞郎
- 1975 角田 悦啓
- 1975 飯野 和広
- 1976 高橋 寛仁
- 1976 柴田 誠
- 1977 磯久 毅
- 1977 齊藤 恭一
- 1977 佐藤 賢一
- 1977 前田 博行
- 1978 天野 富夫
- 1979 矢澤 尚彦
- 1980 岡尾 克彦

- 1980 高澤 一行
- 1980 羽太 勇
- 1980 畑 淳一
- 1980 平松 一義
- 1980 高野 優
- 1981 千賀 吉展
- 1981 早見 功
- 1982 太尾 健
- 1983 池谷 憲治
- 1984 片山 章
- 1985 水元 善章
- 1987 紫藤 俊郎
- 1989 森 正樹
- 1993 當麻 秀樹
- 1995 中村 静弘
- 1997 榎本 卓晃
- 1997 一柳 裕昭
- 1998 今村 聡輔
- 1998 白鳥 邦晃
- 1999 坂口 教子
- 2003 小平 友和
- 2005 大岩 久峰
- 2010 宮城 貴則
- 2010 森 健亮
- 2012 久保 直紀
- 2014 柴原 賢一
- 2018 千野みつき
- 2019 鈴木 勝太
- 2020 阪田 顕
- 匿名 14件

化学系同窓会

- 1954 丹羽 宏之
- 1956 内田 昭二
- 1959 相沢 久弘
- 1959 関野 良雄
- 1959 竹内 節子
- 1960 荒井 弘一
- 1960 小熊 重男
- 1960 高崎 宗利
- 1960 若栗 徳男
- 1961 中尾 猛
- 1961 須藤喜八郎
- 1961 関根 新一
- 1962 穂本 佳能
- 1962 小山内 敏

- 1962 合田 房雄
- 1962 中込 孝之
- 1963 佐藤 俊彦
- 1963 馬場 進
- 1964 佐藤 恵子
- 1964 佐久間守人
- 1964 須田 俊男
- 1964 湯川 治夫
- 1965 井上 雅安
- 1965 松原 征志
- 1965 山崎 哲三
- 1966 吉川 重克
- 1966 渡辺 麻男
- 1967 徳永 正昭
- 1967 長島 珍男
- 1967 東條 博典
- 1968 原口 昇
- 1969 金子 直之
- 1969 西藤 敏男
- 1969 岩本 博行
- 1970 菅原 康里
- 1970 中山 和夫
- 1970 松原 進
- 1970 山崎 正
- 1971 和田 欣也
- 1972 秋田 彰一
- 1972 郡山 正二
- 1972 若林 貞由
- 1972 松村 恵司
- 1973 志村 豊
- 1973 白井 精滋
- 1973 浜田 康裕
- 1973 吉村 裕至
- 1974 菊川 博文
- 1974 水島 芳一
- 1975 新藤日出夫
- 1976 阿部 立実
- 1976 乾 義秀
- 1976 長田 誠
- 1976 藤田 直人
- 1976 宮下 一義
- 1977 久慈 英樹
- 1978 伊藤 弘之
- 1979 笠松 憲一
- 1979 森田 保
- 1981 広田 俊明

電気系同窓会

- 1959 岩花 忠彦
- 1959 安井 通八
- 1960 河本 洋次
- 1960 木幡 公典
- 1962 小川 道雄
- 1962 加藤 勇
- 1962 佐藤 英寿
- 1962 鈴木 良平
- 1962 小林 鶴夫
- 1962 高田 貢
- 1963 齋藤 茂樹
- 1963 田中 昭男
- 1963 中島 鈴之
- 1963 中畑 慧
- 1964 石塚 良昭
- 1964 蔭山 洋一
- 1964 日吉 静男
- 1964 渡辺 静雄
- 1964 仲原 里治
- 1964 長嶋 秀世
- 1964 染谷 博
- 1965 小早川庸行
- 1965 菱田英二郎
- 1965 藤川 洋
- 1966 大塚 正男

- 1966 松本駿太郎
- 1966 小森 和雄
- 1967 杉原 精一
- 1968 遠藤 昊
- 1968 木下 勝博
- 1969 平岡 幸雄
- 1969 笠原 幸兵
- 1969 荒川 捷英
- 1969 岡田 清一
- 1969 井上 公男
- 1969 三好 和憲
- 1970 梶 孝秋
- 1970 来住 康弘
- 1970 久禮 和彦
- 1970 小林 啓一
- 1970 白鳥 敏明
- 1970 藤原 俊男
- 1970 椋田 實
- 1970 芳田真喜人
- 1970 甘粕 一彦
- 1970 村木 修
- 1971 小野 彰
- 1971 中山 正博
- 1971 長谷川 努
- 1971 山岸 定男
- 1971 山崎 繁延
- 1971 仲本 隆司
- 1971 古沢 良夫
- 1972 中山 憲勝
- 1972 半沢 悟
- 1973 石北 宗一
- 1973 上野 耕平
- 1973 小沢 和重
- 1973 小野 幸男
- 1973 日谷 章
- 1973 渡辺 久純
- 1974 島林 正美
- 1974 大久保 清
- 1974 中尾 英明
- 1974 南部 高史
- 1974 平方 治
- 1975 小平 善光
- 1975 小濱健二郎
- 1975 徳田 博文
- 1975 湯川 良
- 1975 渡辺 隆秀

- 1976 高橋 信行
- 1977 前田 立雄
- 1977 中田 一寿
- 1978 佐藤 昌志
- 1978 蒲谷 欣尚
- 1978 熊倉 強
- 1979 綾部 栄
- 1979 大澤滋太郎
- 1979 中野 善司
- 1979 根本 弘道
- 1979 中里 利男
- 1980 若井 克友
- 1980 安藤 正巳
- 1981 竹中 了
- 1981 田中 克弘
- 1983 唐崎 幸弘
- 1984 唐崎 明子
- 1985 竹内 博和
- 1986 松田 清
- 1986 熊坂 巧
- 1987 横澤 達
- 1988 山田 清
- 1989 石橋 誠
- 1991 稲葉 正
- 1992 清水 泰雅
- 1993 勝山慎一郎
- 1995 田中 久弥
- 2000 菲澤 一之
- 2001 高橋 義典
- 2003 園定 義典
- 2004 箕谷 祐也
- 2008 安藤 裕太
- 2010 坂井 直之
- 2011 青井 瑛
- 2011 宇佐見健一
- 2014 長谷川健太
- 2020 坂井健太郎
- 匿名 25件

建築系同窓会

- 1962 谷 政美
- 1962 山田 伸一
- 1963 高岡 敏夫
- 1963 高橋 庫治
- 1963 奥田 幸司
- 1964 木村 光信
- 1965 沢田 洋二

- 1966 大幡 寛
- 1966 平野 久雄
- 1966 矢田 和弘
- 1966 青木喜代司
- 1966 山田 雅孝
- 1966 関 五郎
- 1967 佐藤 亨
- 1967 真尾 博
- 1967 上野 光三
- 1968 内山 一郎
- 1968 川相 明弘
- 1968 日下部銃五郎
- 1968 中山 亮
- 1968 平野 剛
- 1968 福智 正純
- 1968 阿部 信夫
- 1968 伊庭 孝
- 1968 田口 達
- 1969 芹沢 慶明
- 1969 谷口 宗彦
- 1969 田野邊幸裕
- 1969 友野 稔
- 1969 沼尾 俊郎
- 1969 小松 邦彦
- 1969 高橋 一元
- 1969 坂口 周平
- 1969 初田 亨
- 1969 吉永 祐一
- 1969 木村 雅俊
- 1969 大塚 廣
- 1970 岩瀬 栄子
- 1970 杉山 正博
- 1970 辻岡 義雄
- 1970 寺田 正堯
- 1970 平井 真夫
- 1970 渡部 哲次
- 1971 横尾 格美
- 1971 飯田 和夫
- 1971 栗田 博義
- 1971 渡辺 史郎
- 1971 木村 三郎
- 1971 鈴木 公章
- 1972 稲葉 一明
- 1972 濱田 昭夫
- 1973 阿部 信義

- 1973 坂本 俊幸
- 1973 吉田 登
- 1973 秋月 明
- 1973 島田 敏幸
- 1973 高松 良幸
- 1973 増山 英樹
- 1973 小島 民久
- 1973 中村 脩
- 1974 足立 泰雄
- 1974 阿保 秀紀
- 1974 廉沢 映治
- 1974 楠 昭
- 1974 河野 工
- 1974 篠原 良
- 1974 比嘉 康夫
- 1974 平田 洋一
- 1974 大島 英雄
- 1974 河合 正昭
- 1975 高橋 孝栄
- 1975 小内 實
- 1975 香西 朗
- 1976 井川 潤
- 1976 井上 保夫
- 1976 菊池 一雄
- 1976 後藤 敏明
- 1976 嶋田 修
- 1976 五月女元良
- 1976 竹内 茂
- 1976 山越 衛
- 1976 吉田 進
- 1977 加藤 隆弘
- 1977 柴田 卓次
- 1977 八重樫義男
- 1977 谷川 一雄
- 1978 伊藤 敏
- 1979 内野 正之
- 1979 木村 雄一
- 1979 高木 雅行
- 1979 黛 邦男
- 1979 椿 賢治
- 1979 鳥山 富幸
- 1979 花岡 栄治
- 1979 前田 卓
- 1980 石川 啓司
- 1980 関谷 源次
- 1980 知花 毅
- 1981 石田 秀貴

- 1981 小俣 光一
- 1981 山根 秀明
- 1982 鈴木 敏彦
- 1983 小林 将夫
- 1985 片桐 徹
- 1986 不破 達生
- 1987 金子 純
- 1990 村島 正彦
- 1991 香川 浩
- 1991 新海 俊一
- 1991 渡邊 文博
- 1992 表 俊博
- 1992 小坂 浩一
- 1992 土屋 和男
- 1994 西川 豊宏
- 1998 熊川 輝之
- 1999 佐藤 弘規
- 2002 潮田 真己
- 2009 山岸 梨香
- 2009 児玉 達朗
- 2014 清水 大地
- 2018 添田 峰夫
- 匿名 13件

高校同窓会

- 1954 中野 喬行
- 1958 石渡 秀夫
- 1958 米沢善治郎
- 1961 五十嵐 功
- 1961 鈴木 孝雄
- 1961 高木 賢治
- 1962 三宅 捷夫
- 1964 小林 保男
- 1964 篠 欣克
- 1964 鄭 雄飛
- 1964 黒米 富雄
- 1965 倉内 重耐
- 1967 有岡 光男
- 1968 星野 明
- 1969 若林 勝司
- 1973 太田 正利
- 1975 内野 正之
- 1975 内堀 錦吾
- 1975 岡安 彰
- 1976 平松 一義
- 1977 小口 俊明
- 1979 大沢 有正

専門学校同窓会

- 1956 小嶋 正夫
- 1959 石川 裕倉
- 1960 関口 守正
- 1960 小野今朝男
- 1961 石渡 守
- 1961 佐久間惣喜
- 1961 清水 正和
- 1964 井筒 威夫
- 1964 大野 英誠
- 1965 高橋二三男
- 1966 小林 保弘
- 1967 田中 良夫
- 1967 森 則雄
- 1968 相澤 良夫
- 1968 酒井 史生
- 1968 山川 義則
- 1968 加藤美恵子
- 1968 清水 武義
- 1970 高嶋 賢一
- 1970 坂本 竜爾
- 1970 大友 幸伸
- 1971 篠崎 秀夫
- 1972 松田 勝之
- 1972 加藤 豊
- 1972 古山 正文
- 1973 鎌田 健一
- 1973 田代 博之
- 1974 近藤 松男
- 1975 五十嵐 徹
- 1976 藤田 純一
- 1977 島森 清
- 1978 井上 博明
- 1980 大賀 信之
- 1981 関 裕和
- 1981 上田 和幸
- 1982 竹内 満
- 1985 櫻井 良尚
- 1985 広瀬 竜也

企業(代表者)

- 電 2005 樫 一郎
- 原アルミ工業(株)
- 電 1971 原 明男
- (株)吉田建築事務所
- 建 1989 吉田 勝彦
- (株)すぎはら建築工房
- 建 1982 杉原 賢磁
- 木本商事(株)
- 建 1965 木本 安信
- (株)NoRix
- 建 1972 中島 範義
- クオリティクリエーション(株)
- 電 1973 小沢 和重
- (株)フジサウンドテクノ
- 電 1995 山崎 雅和
- (株)豊川設計事務所
- 建 1970 豊川 裕子
- (株)テクノクルー
- 電 1980 矢吹 定夫
- (有)若葉林業
- 電 1977 荒川 豊樹
- 工藤建設(株)
- 電 1975 工藤 一博

(納入日順)

団体

- K.P.F.R OB会

皆様から納入いただいた維持協力会費は総額200万円を限度に皆様の所属支部へ支援活動交付金として還元しております。
 さらに校友会の事業活動費として、学園への援助（新宿祭、八王子祭、夢工祭、ホームカミングデー等）および
 学生活動への援助（本学の名誉ある文化、体育関連の学生活動等）に運用活用しております。
皆様のさらなるご協力をいただきたくお願い申し上げます。